

2009年12月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

学術講演会報告

「総義歯を極める
―術式とそのカン所―」

H21.10.28

HP

平成二十一年度学術講演

会が一〇月二八日(水)に
北区民センターにて行われ
ました。講師として宮崎歯
科医院勤務の奥野幾久先生
をお招きし「総義歯を極め
る―術式とそのカン所―」
という演題で非常にわかり
やすく、また教科書などに
は載っていない、御自身がチ
ェアサイドから学ばれた
ポイントを細かくお話しし
ただきました。

まず、奥野先生は過去の
経験から総義歯に求められ
る支持、咬合関係、義歯の
剛性を三本柱として特に重
要と考えておられ、総義歯
を製作するにあたりさまざ
まな項目がある中、今回の
演題にある術式とそのカン
所を重視し、

【診察・診断】

奥野先生が考えておられ
るチェック項目としては
一、顔貌
二、習癖



三、治療に対する要求度
四、食事の好み
五、話の理解力・意思の疎通

六、Patient's skill

七、その他、現義歯のチェ
ックポイントとして、維持・
支持・安定性のチェック、
床面積は適切か?、咬合接
触点・タッピングポイント
集束の有無、義歯安定剤を
使用しているか?、クッシ
ョン剤の使用の有無、自分
で義歯を削っていないかど
うか?

【印象採得】

〈概形印象、研究用模型〉
印象採得を行うにあたっ
て、まず支持、印象域、適
合状態を考える事。
概形印象は、印象域をハ
ッキリと記録することを目
的とし、できるだけ解剖学

的ランドマークを研究用模
型に反映させることが重要。
研究用模型では、ハミチュ
ーノッチ、アーライン、レ
トロモラーパッドなどの形
態を観察し、少なくとも上
顎の模型には床後縁ライン
と正中ラインは歯科医師が
記入することが必要。

〈最終印象〉

個人トレー内面にイソコ
ンパウンドを盛り、口腔内
で安定させ、その後ボーダ
ーモルディングを行う。
下顎のデンチャースペース
ピエゾグラフィーという
方法で採得する。

【咬合採得(顎間関係記録)】

〈垂直的顎間関係〉

咬合床を試適した後にま
ず、前歯部の露出度、豊隆
を決定し、次に仮想咬合平
面を決める。垂直的顎間距
離の決定は、鼻翼下縁から
オトガイの距離と瞳孔から
口角の距離を一致させると
いう基本的概念を捉えつつ、
現義歯の咬合高径を参考に



決定する。

〈水平的顎間関係〉

ゴシックアーチを用いる。

【咬合様式・咬合調整】

咬合様式はフルバランス
であってもリンガライズで
あってもどちらでもよい。
ただ、総義歯の場合バイラ
テラル(両側性平衡咬合)
にする。咬合調整は側方運
動時だけでなく、前方運動
時の調整も必要。また、シ
リコーンのボールなどを用
いて、片側で咬合させ反対
側に浮き上がりがないかを
確認(ユニラテラル)する。
咬合調整後は、自動削合の
ペーストを用いたほうがよ
い。

い。

技工のすべてをテクニシ
ヤンに委ねがちな総義歯を
今現在もすべてご自身で製
作されている先生だからこ
そ自信をもってお話しされ
る大変説得力のあるご講演
でした。奥野先生本当にあ
りがとうございました。

講演に先立ちヘレウスス
ルツァージャパン(株)より
e-Ha(イーハ・硬質レジ
ン歯)、フレキシタイムバ
イト(シリコンバイト材)
紹介、第一三共(株)より(新
製品)クラビット高用量製
剤二五〇mg・五〇〇mg・細
粒一〇%についての説明が
行われました。
(学術部・六人部慶彦記)

パノラマ

八月の総選挙によ
り歴史的な「政権交
代」が実現し、民主
党、社民党、国民新
党による連立政権が
誕生した。

その後一〇月二六
日に行われた鳩山首
相の所信表明演説は、五二
分にわたる最長記録のもの
となった。「友愛政治」「無
血の平成維新」を旗印に内
政では年金・医療・介護・
子育て・教育問題や地域主
権改革、外交では地球温暖
化問題や核軍縮、日米同盟
をはじめとする各国との関
係などが柱の内容になって
いる。

我々の最も関心のある医
療についてはその中で「財
政のみの視点から医療費や
介護費をひたすら抑制して
きたこれまでの方針を転換し、
質の高い医療・介護サービ
スを効率的かつ安定的に供
給できる体制づくりに着手
します」と述べられている。
小泉改革以降の立て続け
の診療報酬の削減、材料費
の高騰、医科との格差の拡
大、等により歯科業界全体
が困窮し、疲弊している現
状を把握していただき、鳩
山政権の友愛がいかなるも
のか、その真価を次期診療
報酬改定で示していただき
たいものである。
(K)

論説

「民主党政権について」

副会長 大浦寿哉



八月三十一日の衆議院議員選挙にて民主党が大勝した。民主党は、官僚主導の政治からの脱却を国民に訴え、子供手当で、高速道路無料化、農業政策などをマニフェストに盛りこみ長年続いた自由民主党政治を終わらせた。

民主党の各大臣は、政権交代直後より自民党が作った補正予算の一部凍結、小泉改革の目玉であった郵政民営化の見直し、さらに仕分け人といわれる人たちが概算請求のなかの無駄の排除など積極的にマニフェストを実行しようとしている。その言動や活動内容が、毎日ニュースやワイドショーで放送されている。

医療に関して、民主党のマニフェストでは社会保障費二千二百億円抑制を撤廃し、入院医療の診療報酬を一・二倍にするほか、医師

養成数を一・五倍に増やす政策を掲げている。ただ、医療費が毎年三%の伸びを継続し、七五歳以上の医療費が二〇〇八年には十一兆円（一人当たり八五万円）となり財源確保に対する不安があるのは事実である。また、歯科医療の位置づけも明確にされておらず、むしろそのツケが歯科に回ってくるようなこともいわれている。

今回の政権交代は、『言っても無駄だ』と今まであきらめていた国民が、意思を表に出すことよって国の仕組みを動かしたといえる。身近な問題として、レセプトオンライン請求の問題がある。民主党のマニフェストでは「義務化」では導入が難しく廃業を余儀なくされる医療機関が出てくるとして「原則」に改め、例外規程を設ける余地は残すとなっていた。厚生労働省から一〇月に出された、『レセプトオンライン請求に関する負改正および告示（案）について』によると、レセプト件数が少ない医療機関以外は、オンライン請求を

義務化するとなっていた。この件について、厚生労働省がパブリックコメントの募集を実施したところ、一〇月一〇日から二十三日の間に全国から意見総数二二二〇件寄せられた。この数の多さは、会員ひとりひとりが、なんらかの意見を発信することによって何かが変わるのではないかと感じ始めている表れではないかと思われる。意見の中心は、義務化撤回を求めるもの、セキュリティ面を指

医療管理講演会

— 新型インフルエンザへの備え —

H21.10.5

HP

一〇月五日（月）午後七時三〇分よりホテル東急イン二階貸会議室にて、医療管理講演会が開催されました。

講演に先立って、講演会に協賛して頂いた昭和薬品の商品説明をして頂いたのちに高麗会長の挨拶に続いて、久保茂正先生による「新型インフルエンザへの備え」についてご講演していただきました。

短期間のうちに全世界へ広がった新型インフルエンザの最新情報と正しい知識を紹介していただき、個人としてこの時期にどのような対処すればいいのか、ま

摘するものが多くを占めていた。これを受けて十一月二五日に事実上オンライン請求義務化撤回の内容の省令改正を官報告示した。われわれの民意が、国を動かしたといえる。

今回の政権交代を目の当たりにして、私たちにどうすべきでも暮らしやすい世の中にするには、国民一人一人が、しっかりと政治に注目し、意見を発していかなければならないと実感した。



た歯科医院としての予防策等を説明して頂きました。内容が濃く予定時間をオーバーして終了しました。参加人数は三五名でした。（常務理事・中川晴彦記）

医療保険ゼミナール開催

H21.9.29

HP

九月二十九日（火）午後七時三〇分より、北区歯科医師会事務所にて医療保険ゼミナールが開催されました。

本年度は、府歯指導型医療保険講習会が開催されず、各支部の医療保険部が会員に対して講習会を開くこととなりました。当支部では、毎年医療保険ゼミナールを開いており、本年度はより一層の充実を図りました。

高麗会長の挨拶の後、会員からの質問に医療保険部員が答える形式で行いました。疑義解釈につきましては、事前に府歯医療保険部と打ち合わせの上、的確に解答させていただきました。部員も含め各会員からの本音トークも披露され、和やかな雰囲気の中に終了しました。

（担当理事・岡田修二記）

北区みんなの健康まつり

H21.10.24



た。医師会は各科医療相談、薬剤師会は家庭常備薬の相談等が行われ、歯科医師会では地域医療部員が北区大淀の先生方、歯科衛生士達と合同で「歯科相談」「ブラッシング指導」を行ない歯科のブースは今年も大盛況でした。

「見直そう！食生活・運動・生活習慣」をテーマに平成二十一年度みんなの健康まつりが一〇月二十四日（土）午後〇時三〇分より北区民ホールにて北区の三師会、地域振興会、保健福祉センター、消防署他多くの団体の協力により開催されました。

総来場者数は六一五人と例年に比べやや低調ではありましたが、その内の一二五人が歯科相談を受けられたことから歯科に対する関心の高さが窺え、こういった機会の大切さを再認識いたしました。

（担当理事・高畑栄夫記）

第19回隣接7支部支部長懇談会

(北区支部・北区大淀支部・東淀川区支部・淀川区支部・西淀川区支部・此花区支部・福島区支部)

H21.11.7

十一月七日(土)午後五時より、福島区ホテル阪神にて隣接七支部支部長懇談会が行われました。

事前に協議内容についてのアンケートがあり、当支部では、入会促進と未入会診療所問題、法人の入会についてヒアリングを行いました。

また、医療保険講習会の開催状況、歯科医師連盟との峻別について、新年互礼会の来

規程検討委員会

H21.11.9

十一月九日(月)午後七時三〇より、北区歯科医師会事務所にて規程検討委員会が行われた。

委員長に七班横野明弘先生、副委員長に六班渡辺道雄先生が選出され、高麗会長から委員を代表して横野委員長に諮問書が手渡された。大塚専務理事を議長に、未入会問題の解決、時節の流れに沿った会員のためのより細やかな対応、増加しつつある医療法人の開設する診療所に対応する規程の見直しを中心に何点か検討した。ほぼ全員の合意を得

賓等についても、質問させてい

ただきました。他支部からは、高齢者口腔相談への取り組み、会員の行事参加推進、収入減など興味深い話題が提起され、それぞれについて意見を交換いたしました。

今回は新任支部長が複数おられましたので、各支部にとつて有意義な情報交換と懇親の場となりました。(常務理事・佐々木裕記)

る結論に達したが、さらに細部については継続審議することとして閉会した。(常務理事・佐々木裕記)



福祉共済制度検討委員会発足

H21.11.24

十一月二十四日(火)午後七時三〇分より北区歯科医

訃報



阪本義樹先生(11班)

平成二十二年二月七日死去

御略歴

大正一五年八月十二日生
昭和二十三年
大阪歯科大学専門学校卒業
大阪府知事賞・文部大臣賞
等受賞、勲五等瑞宝章受賞

師会事務所に於いて福祉共済制度検討委員会が高麗会長より諮問書が手渡され発足した。

委員長に橋本收先生が、副委員長には水沼和夫先生、野口副会長が選出され委員には東郷監事、奥野監事、大塚専務理事、佐々木常務理事、森川理事が委嘱された。

この委員会は前執行部での協議を踏まえ、同制度が無理なく運営されていくにはどのようにすれば最善かを協議する為に発足された。今後、数回にわたり委員会が開催され協議される予定である。(専務理事・大塚俊裕記)

阪本義樹先生を偲んで

2班 佐々木 裕

私は大学を卒業して、二年後から大阪マルビル阪本歯科にお世話になりました。そのご縁ですつとご指導をいただいておりますが、もうそれ

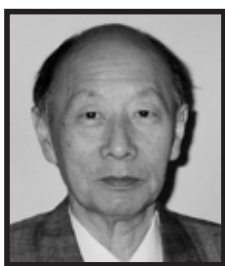
もかなわなくなりました。当時阪本先生は、東大阪の医院、学校歯科、衛生士学校、そして大阪口腔インプラント学会と、多くの仕事を精力的にこなしておられ、たいへんなご活躍でした。常に新しいことに挑戦する、しかしそれには充分な研究と準備が必要だ、というお考えが、その根底にはあったように思います。

歯科医療に対する姿勢は、真剣、真摯そのものであり、常にピリツとした空気の中、勉強させていただきました。技工室が私の居室だったのですが、歯科医師として当たり前のことが自然と身に付くように、掃除や後片付けをさせていただいたことが、現在も役に立っております。

我々が帰宅する時は、阪本先生はいつも講演会の準備でスライドの整理をしておられました。私の存じ上げる限り、ほとんど遊興に時間を割くことはなかったように思います。そんな中で、古典芸能、特に歌舞伎

に關してはたいへん造詣が深く、その話題になりますと、とても楽しそうにお話し下さいました。

本年の互礼会でお会いした時に「佐々木君、僕瘦せたやろ」とおっしゃりながらも、お元氣な様子でおられましたので、突然の訃報に驚いた次第です。すばらしいご家族に囲まれ、歯科医師としてまた公人としても多くの業績を残され、すばらしい人生を送られたと、私はうらやましく思っております。先生との思い出やご恩は簡単には語りつくせませんが、安らかにお休みになられますことをお祈りいたします。



中西國夫先生(班外)

平成二十二年十二月十二日死去

御略歴

昭和六年八月一日日生
昭和三〇年
大阪歯科大学卒業
昭和三三年・北区にて開業
昭和四〇〜四二年!庶務理事
昭和四一〜四四年!学術理事
昭和四六〜四八年!総務理事
昭和五〇〜五四年専務理事
府歯代議員

中西國夫先生を悼む

11班 黒川 森夫

思えば、当時は雑誌であった「ほくし」一号が発刊されたのが三七年前の昭和四六年一月で、編集長が竹花一先生、編集委員として清光淳夫、中西國夫、西川亨各先生の中に若輩の私が入りました。それ以後中西先生のご懇意にさせて戴きました。

先生にはその間、編集関係のことで色々ご教授戴きましたし、第四次、第五次大内執行部では専務理事として庶務理事の私に会務の基本についてきめ細かいご指導を戴いたことを懐かしく思い出します。

緻密な頭脳と適確な分析力により府歯および当会に幾多の業績を残されると同時に、北区歯科医師会の基礎を築かれた方でした。

最近、油絵に興じられ、ご友人と画廊展を開かれたこと、そして数年前まで「みおつくしの会」にご出席され、私と広報談義に花を咲かせたことなど今も鮮明に憶えております。

長きにわたり温かいご指導を戴きましたことに感謝致しますと共に、先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

北歯ゴルフ同好会秋季コンペ

H21.10.12

HP

一〇月十二日(祝)に伏尾GCに於いて、平成二十一年度秋季コンペが開催されました。当日は晴天で風も無く絶好のゴルフ日和でのプレーとなりました。

参加者はメンバー七名、ビジター七名の合計二四名で、橋本收先生のご子息の橋本哲志先生が初優勝、黒川森夫先生のご子息の黒川晃夫先生が二位という結果となりました。

また、来年の春季コンペは四月十一日の日曜日を予定しております。



定しております。三ヶ月前に、詳細は連絡させていたきます。同好会会員でない方も、奮ってのご参加をお待ちしております。(専務理事・大塚俊裕記)



ソフトボール同好会

故中村敏三先生・追悼試合(対北区大淀支部)

H21.9.3

九月三日(木)午後七時より、柴島スポーツソフトボール場にて対北区大淀支部とのソフトボール練習試合が行われました。この試合は六月に急逝された中村敏三先生(前監督)の追悼試合として開催されました。試合前の高麗会長の挨拶に続いて、両軍全選手が黙祷を捧げた後、左腕に喪章をつけ試合に臨みました。

結果は投打で圧倒した北区北が毎回得点の七対七で大勝し、天国の中村監督へ良い報告ができたと思います。



会員懇親会

ボルトガルのママの味

H21.9.25

HP

九月二十五日(金)に西天満のアメリカ領事館の隣「ボルトガリア」にて、福祉部主催会員懇親会が開催されました。

四十余名の会員に参加して頂き、店内はほぼ満席状態となりました。

開会にあたり高麗会長の挨拶があり「総選挙では民主党が大勝し、政治も大きく変化した。当会も来年の互礼会では民主党の吉田おさむ衆議院議員をお招きたい。また、診療所における新型インフルエンザ対策

に、スタッフ一丸となつて臨んで戴きたい。」と述べられた。その後、吉田興二先生のご発声で乾杯をボルトガルビールで行った。

ちなみに、懇親会場の「ボルトガリア」は本場のボルトガル家庭料理をボルトガル人シェフ(肝っ玉母さん)



ホームページ便り

北区歯科医師会では現在新聞やFAXにおいて会員の皆様に関する情報を提供しておりますが、北区歯科医師会ホームページ(H.P.)にはさらに詳しい情報が掲載されており、非常に役に立つものとなっております。

初めてご利用される方はトップページの左下にログインするところがありますので、そこに「ユーザー名」と「パスワード」をお入れください。ユーザー名と仮パスワードに



が調理する日本で唯一のレストランであるとオーナーは自負していました。このオーナーもボルトガル人で宮崎哲先生の三十年来の友人という事もあって、マイクを持ちハイテンションで、次々と出される料理の説明をして戴いたり、今では日本語のように日常会話で使われているボルトガル語を

つきましては、以前に封書にてお送りいたしました方が、お分かりにくい方また紛失された方は支部へお問合せください。ログインされましたらパスワードの変更の仕方をホームページのQ&Aに詳しくのせておりますのでご一読ください、各自ご変更ください。

【お知らせ】

下記マークが見出しの下に付いている記事はホームページにて詳しい内容、又は写真が掲載されています。どうぞご覧ください。

HP

新入会員

11班・橋本 浩一

(神奈川歯大・平成7年卒)



(診) Hデンタルクリニック橋本歯科

梅田二天坂駅前第二ビル

電 六三四四一九四一八

F 六三四四一九四四一

編集後記

今年最後のほくしです。来年もよろしく願います。